

2024年12月22日

YACかわら版 524

冰山A23a

「これらの巨大な冰山は通過する海に栄養分を供給し、生産性の低い地域に豊かな生態系を作り出す」.....

©BBC Reuters

コペルニクスブラウザ等を使用すると、冰山は確認しやすい対象です。大きくて周辺との差異が鮮明です。

YACかわら版でも冰山を追っています。⑤

最近**冰山A23a**がまた話題になりました。「世界最大の冰山、渦(うず)を抜けて北へ向かう」とBBCも紹介しました。

<https://www.bbc.com/news/articles/cg4zve79z5ro>
添付写真には「**A23a**は大ロンドンの2倍の大きさで、北に移動するにつれて崩壊(ほうかい)して溶ける可能性が高い。」との説明がついています。①②

YACかわら版410に次のように書いています。

A23a冰山は1986年に南極の棚氷からうまれましたが、すぐにウェッデル海に着底し、年月を重ねていました。

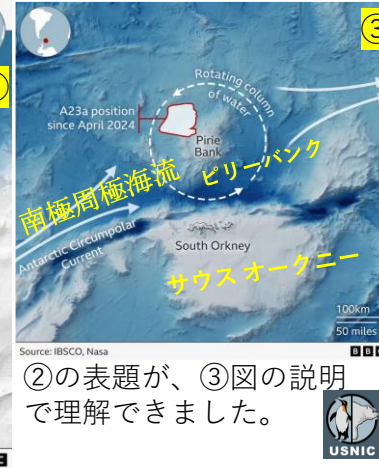
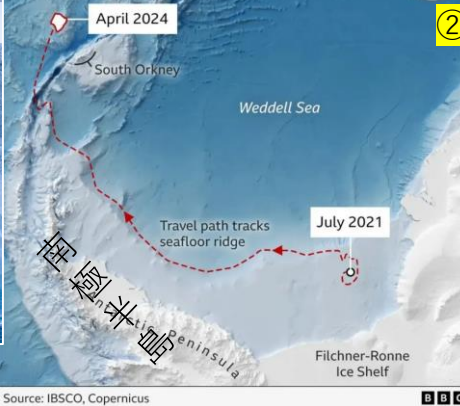
2020年から海底から離れ移動を開始しました。「30年以上海底に停まっていた後、移動を続けている」(BBCニュース) どうして移動を開始したのでしょうか。北上するにつれ移動スピードが速くなっています。

これまでのA76冰山のように、そろそろ向きを変えるのでしょうか。南極周極海流や偏西風の影響で南大西洋に向かっていくのでしょうか。*一部表記修正

昨年**の11月28日以降**、A23a冰山を追っていませんでした。南極周極海流の影響を大きく受けるものと愚考していました。

ところが冰山はどこにも行きませんでした。サウス オークニー諸島のすぐ北に留まり、反時計回りに1日約15度回転していました。

Seafloor shape guides iceberg drift



②の表題が、③図の説明で理解できました。

③ 南極周極海流が約100km幅のピリー堆(たい)にあたり、2つの流れに分かれ、その間に、大きな渦(うず)が発生し、その渦にA23aがとりこまれ、その場で回転していました。南極周極海流は巨大な海流です。南極周極海流は地球上のすべての川の水量を合わせた量の100倍もの水を地球上で動かす巨大な海流だそうです。

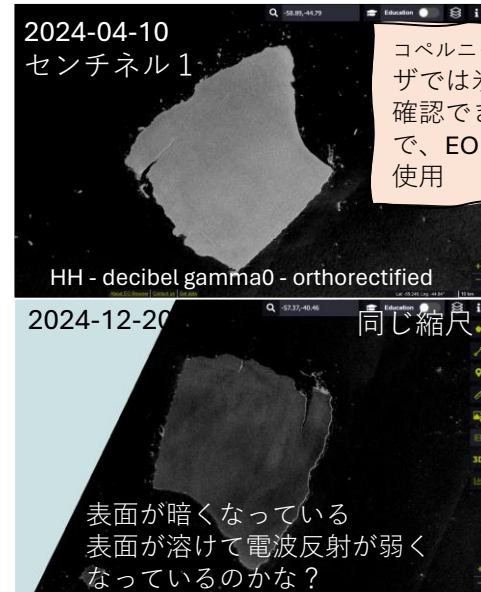
A23aの状況については、「世界最大の冰山が海の罫(わな)の中で回転」(2024年8月4日)と説明されていました。③

<https://www.bbc.com/news/articles/cd168081wxvo>

だから今回「...渦をぬけ...」と説明されていました。

改めて、11月23日以降の冰山の位置を調べました。④

これからの変化をしばらくみたくなりました。



コペルニクスブラウザでは冰山の位置が確認できなかったのので、EOブラウザを使用

A23aの位置					
位置更新日	長さ (海里)	幅 (海里)	緯度	経度	備考
2011年11月16日	44	40	-75.9	-41.1	海底に接地
2019年11月1日	44	40	-75.8	-41.2	
2021年7月2日	40	34	-75.5	-39.7	
2021年12月24日	40	34	-75.9	-40.8	
2023年11月24日	40	32	-62.8	-52.4	
2024年2月2日	40	32	-60.8	-50.8	
2024年4月5日	40	32	-58.9	-44.8	移動休止
2024年6月7日	40	32	-58.8	-45.7	
2024年8月2日	40	32	-58.7	-46.2	
2024年10月4日	40	32	-58.6	-46.2	
2024年12月20日	40	32	-57.4	-40.5	

U.S.NATIONAL ICE CENTERより作成

<https://usicecenter.gov/Products/ArchiveSearchMulti?table=IcebergProducts&linkChange=ant-three>

YACかわら版バックナンバー

号数	掲載	題名
410	2023年11月28日版	冰山A23a
338	2023年01月29日版	冰山の見える景色
337	2023年01月26日版	新冰山 A81
288	2022年09月10日版	A-76冰山は今
141	2021年05月21日版	世界最大の冰山に会いましょう